

「AIDoor」モニター結果報告書

神奈川県総合リハビリテーションセンター

地域支援センター 生活支援工学研究室

設置場所

今回モニターに参加した施設、老健施設と更生ホームの両方から、入所者の居室とトイレについては利用者が重いドアを開けられないため、カーテンなどで遮断しているが、プライバシー保護の観点からは望ましくないのが現状である。従って、本製品がこのような場所に設置することが望ましいとの意見が出ていることを紹介したい。ただし、自動ドアとの選択を検討する余地が有ることも認めているので、機能面と価格とを合わせた戦略が必要であろうとの助言があった。

表1に示すように、開閉力が「重かった」と回答した人は、補装具を使用した障害者で、「やや重い」と回答した人は、「外はシルバーカーを利用し、膝人工関節で脊柱狭窄症」の高齢者で、いずれも歩行困難であった。しかし、歩行できている軽い歩行困難な老健施設の高齢者（デイサービス利用）は「楽に出来た」と評価している。「ケアマネ研究会」に参加したケアマネの多くが「やや重い」と回答していた。一方、車いす利用の脊損者の老健施設の高齢者は「楽に出来た」と回答していた。

表1 引き戸の開閉に必要な力と所属別回答者

	引き戸は少ない力で開閉出来ましたか				総計
	楽に出来た	やや重い	重かった	(空白)	
老健施設	7	2		1	10
ケアマネ研究会	2	8	1		11
脊損	2				2
総計	11	10	1	1	23

【快適性】

引き戸の開閉負担感を聞いたところ、表3に示すように、負担感が高齢者と障害者と同様な傾向を示していた。

表3 引き戸の開閉負担感と回答者の所属

	この引き戸の開閉が楽になりましたか				総計
	快適である	負担でなくなった	以前と変わらない	(空白)	
老健施設	3	4	2	1	10
ケアマネ研究会	3	4	2	2	11
脊損		2			2
総計	6	10	4	3	23

表7 本製品を利用する適当な対象者と回答者の所属

	この引き戸を利用する適当な対象者を選択してください								総計
	車いす使用者	歩行困難者	力の弱い高齢者	力の弱い障害者	子供	全ての人	その他	空白	
老健施設	4	2	5	2	2	1		1	17
ケアマネ研究会	8	6	3	3	4	4	1		29
脊損	2	1		1	1				5
総計	14	9	8	6	7	5	1	1	51